



2023年1月 発行

2023年が始まる 今年の漢字は

12月31日の大晦日から1月1日の元旦を迎え、2023年が始まりました。地球という宇宙のなかにある一つの星にとっては、また地球上に存在するほとんどの生き物にとっては、大きな変化などなく過ぎていった時間なのかもしれません。ただし、人間はこれまでの長い歴史の中で、12月31日と1月1日の間に「1年」という時間の区切りを生み出しました。この「1年」の終わりと始まりの節目をみなさんには大切にしてほしいと思います。みなさんは今年、どんな「1年」にしたいですか？自分なりの目標を立てましょう。立てた目標を漢字1字で表現し、見えるところに貼っておきましょう。その目標を達成するために「今日から何を、どれくらい行動しますか？」「いつまでに何を達成しますか？」これも見えるところに貼っておきましょう。2023年もみなさんにとって素晴らしい1年となることを教員一同、心から願っています。本年もよろしくお祈りします。



3学期が始まる どう過ごしますか

3学期が始まりました。みなさんはどう過ごしますか？どう過ごしたいですか？3学期は1年間の中で最も短い学期です。そして、3学期が終わると1年間が終了となります。時間の流れは気にしていると長く感じますが、気にしていないとあっという間に過ぎてしまいます。「今日という日は二度と来ない」「1日1日を大切に過ごす」これらの意味や大切さを今のみなさんならより一層深く受け止めることができるのではないのでしょうか。

3年生のみなさんは3学期で卒業を迎え、中学校3年間を終えることとなります。そして、今後人生の中で二度と経験することはできません。クラスメイトや同学年の友達、先生との時間は二度と訪れることはないのです。杉中生として、教室や、グラウンドで過ごす時間、正門や裏門を通ること、制服や体操服に袖を通すこともなくなります。二度と訪れない今日という1日を後悔することなく、大切に過ごしましょう。自分の思いを伝えよう、自分の思いを行動に移そう。

1・2年生のみなさんも同じです。3学期が終わると今の教室でクラスメイトや担任の先生、各教科の先生と過ごす時間は二度と訪れることはありません。



来年再びクラスメイトとなる人もいるかもしれませんが、クラスの全員が同じであることは絶対にありません。前後左右の人と後悔なく過ごしてください。また担任の先生や各教科の先生も同じです。来年度も当たり前前にも思っていた先生との時間が、この3学期で最後となるかもしれません。二度と訪れない今日を後悔なく、大切に過ごしてください。

杉中生として、意識してほしい事 3点

①「モノの管理」

冬休み期間中に職員室前にある落とし物を回収している棚を整理しました。毎学期、水筒や衣類、筆記用具など大量の落とし物が届いています。自分のものの管理はしっかりとできていますか？自分のものがなくなったことに気付いていますか？自分のものには名前を書きましょう。自分のものをしっかりと管理できる力を身に付けてください。自分のことは自分でできる「自律力」を身に付けましょう。

②「公共物を大切に使う」

二学期に何度かトイレのイタズラについての話をしました。公共物は誰もが気持ちよく使用できるように、みんなの少しずつの優しい思いやりによって成り立っています。自分が嫌な思いをしなくてもいいように、周りの人が嫌な思いをしなくてもいいように、公共物を少しの優しい思いやりをもって大切に使用してください。もちろん、異変などがあった場合にはすぐに先生に知らせるようにしてください。

③「これからの杉中」

杉中学校の象徴、または主役といえる何でしょうか？もちろん、生徒であるみなさんです。つまりみなさんの美しい姿や振る舞いで2023年の杉中学校がより一層素晴らしい学校へとなっていくのです。3年生は進路関係で学校外の方々と接する機会が多くなります。ぜひ杉中生である自分を輝かせてください。杉中生のみなさんの背中には杉中学校という看板が掲げられています。自分の身なりや立ち振る舞いを意識して行動して下さい。みなさんの美しい姿や立ち振る舞いが見られることを期待しています。

最後に…とある歌の歌詞を紹介し、みなさんの心に響く一欠片(ひとかけら)になれば幸いです。

誰もひとりじゃない きっとどこかで繋がって
 この世界を動かす小さな歯車
 誰もひとりじゃない だからどっかでぶつかって
 この世界でもがく小さな そう小さな歯車

世界中の一人一人が必要な存在であり、誰かとは必ず繋がっています。あなたが行動することで誰かの支えとなったり、世界を動かす力となっています。